

## 閑上地区まちづくり協議会 世話役会(114) 議事録

日 時	平成 29 年 5 月 23 日 (火) 18:30~21:00
場 所	名取市復興区画整理課会議室 (仙台法務局名取出張所 2 階)
出席者	世話役 : (代表) 針生勉、(副代表) 今野義正、阿部ひで、(事務局長) 今野慎介、南部比呂志、宇佐美久夫、千葉洋子 (事務局) コンサルタント 1 名
オブザーバー	仙台高専 2 名 (坂口先生、宮崎先生、学生 2 名) 職員 震災復興部区画整理課 2 名 復興調整課 2 名 生活支援課 1 名 傍聴 1 名
議 題	0. 事前確認 1. 情報受発信について 2. 通常総会に向けて 3. その他
資 料	資料-0 次第、第 113 回世話役会議事録案 資料-1 第 3 回通常総会議録案 資料-2 助成金採択説明会報告 資料-3 パンフレット作成業務委託資料 資料-4 西松建設まちづくり基金・まちづくり助成案申請書

### ○ 協議要旨

#### 0. 事前確認について

##### <議事録確認>

- ・第 113 回世話役会議事録は一部修正し、確定した。

##### <市の情報提供>

- ・復興区画整理課からサインの件及び商業施設関連や復興調整課からパンフレット及びホームページ作成業務の委託内容、生活支援課から仮設住宅の特定延長などについて報告、説明があった。

#### 1. 情報受発信について

- ・総会の出欠席の通知をしない会員について、意思を把握し、会員登録の再検証をすることとなった。
- ・災害公営住宅の鍵引き渡し式で暫定版のパンフレットや会への入会案内を配布し、説明することとなった。
- ・ニュースレターは次回の世話役会で検討することとなった。

#### 2. 前回からの動きと今後の予定

- ・助成金の交付式に参加してきたとの報告があった。
- ・市長提案時の参加者を確定した。

#### 3. その他

- ・仙台高専から助成金申請時のまち協の協力をお願いされた。

- ・まちなか再生計画策定に向けた協議会への出席を代表と副代表が要請された。
- ・西団地の集会所機能は、小中一貫校での確保に向けて学校の協議会で検討してもらうように声掛けすることになった。
- ・総会参加者の少なさについて、よりまち協を知ってもらう工夫が必要との話になった。
- ・第3期の集合公営住宅の1階部分が非居住となりそうとの話だが、周辺に戸建住宅があるのにおかしい話だとの意見があり、その意図を市に確認してもらうこととなった。

#### <次回世話役会>

- ・次回世話役会は6月6日（火）とする。

次回予定:世話役会(115)6/6(火)18:30～ 名取市復興区画整理課会議室

**以下、世話役会の主な意見について記載する。**

## 0. 事前確認

### 資料-0 第113回世話役会議事録案

#### 議事録の確認

- ・第113回世話役会議事録は一部修正し、確定した。

#### 名取市からの情報提供

##### <復興区画整理課>

- ・市長提案について31日16:30～で参加できる世話役が参加することとした。
- 集合住宅の壁面の避難ビルサインについて、サイズが小さいとの指摘を前回受けたが、あくまでも暫定的であり、避難誘導にあたっては、案内板などを完成時に貼り付け予定である。今後、避難サイン計画については、東北大の先生と一緒に、9月にまでに検討していく。(市)
- ・サインは、ネオンなどで夜間の視認性は確保するのか？
- 確認していないが、たぶん看板である。(市)
- ・デザインを最初から検討するのか？
- 趣旨としては、配置場所や動線などの検討が主である。(市)
- ・夜の視認や停電時の対応も検討して欲しい。

##### <復興調整課>

- ・協議会でもパンフレットの発行をしようとしているので、名取市で検討しているPRに関する業者選定について、情報共有するために説明をお願いしたい。
- 本業務の目的は、PR活動をすることであり、特に、市の宅地について、80宅地を分譲想定している。震災前の元の公有地面積に見合うように確保されたものである。取得希望者に売却し、閑上地区への居住を促進する。そのために閑上の魅力や居住者への支援制度の情報提供窓口をPR周知する予定。具体的にはパンフレット、ホームページの運営を業務目的として業者選定している。6月2日が参加表明期日であり、書類審査で一番良いところが選定される。今年度一杯が契約期間で、パンフレットは8月31日前に配布予定、ホームページは7月30日に開設予定であり、その後は管理運営としてデータ更新などを進める。特に、早めにPR活動したいと考えている。宅地は、今年の7月には引渡しできるものもあるので、順次希望者への売却を進める。移住支援を目的とした移住サポートセンターは仙台及び東京にあり、パンフレットなどを配置予定であり、

市の積極的な居住推進の取り組みとしてみていただきたい。ホームページは情報をより多く掲載したいと考えており、閑上の魅力紹介、資源、環境の紹介や閑上地区への地区外からの居住者には、市の独自支援として、住宅取得補助を予定していることや子育て世代はより多くの支援制度があるなどの情報を提供していきたい。市有地の売却は、段階に応じて、面積、位置、価格を情報提供していく。子育て、働く、観光の情報提供をしていきたい。情報は加筆修正していく方向である。(市)

・6月2日までの期間だが、何社応募したか？

→1社きている。(市)

・契約期間以降の管理はどうする??

→市職員でも更新できるようなものを作成してもらおう。今年度は業者にやってもらい、その後は直営で継続していきたい。(市)

・5000部だということか、印刷配布はこれで終わり？

→状況に応じて増刷するなどの対応は考えている。市の予算でいきたい。(市)

・配布予定先はどこ？不動産屋にも置くのか？

→宅建協会には頼める。個別店舗は難しい。(市)

・80宅地の位置は？宅地規模は70坪ぐらい？

→概ねそれぐらい。(市)

・住む人を対象とするのか？

→住宅を建てる人を想定している。(市)

・土地を売るのはなし？

→購入後、速やかに建物を建築してもらわないといけなくなる。(市)

・定住人口増加を目指しているということですね。

→移転先団地のほうも、宅地引渡しから建築へまでの期間は限定している。(市)

・店舗付きの住宅は可能か？

→店舗だけでは困るが、住宅併用なら問題ない。法的には用途地域の条件がある。(市)

・魅力のPRとは？どんなイメージか？受注業者で作成するのか？

→市が案も持っているが、どのように業者が表現するかを考えることが業務となり、市の考え方として、今後の閑上の将来像を持っているので、見栄えは業者にまかす。(市)

・業者の作成のものを官民上げて検討していくのはどうか？

→ホームページは修正していける。見せ方が変わるなどの大規模回収のときは新たに契約だが、不評なら見直していく。(市)

・協議会でもパンフレットも作成する予定なので、同じ内容の部分などでは連携をとるなど、明言していることは連携していきたい。

・できれば最終構成で内容をすり合わせするなど、進め方などを工夫して欲しい。

→パンフレットも繰り返し作るのはよい。早めに配布し、興味を持っていただきたい。(市)

・閑上の魅力もあるが、宅地単価はどう？

→不動産鑑定価格で売却予定である。(市)

・単価は重要だ。

→坪10万ぐらいだと思う。被災者で土地を手放した方、居住希望者には、6月復興日より先行募集する予定だ。価格は、場所によって違う。(市)

・まち協としては注目している。成功して欲しい。

<生活再建支援課>

→昨日付けで仮設住宅の居住に関する特定延長の自立再建予定者の申出書の提出をお願いしている。具体的には、移転先が決まっているが、期限内に移動できない方を把握するためである。7年で基本的には使用終了だが、公営住宅3期入居予定者、換地再建で5月完成できない人、移転先団地で期限までに立地できない方を対象としている。仮設住宅の供与期間は国が判断しているので、これらは国に申請する予定。(市)

<復興区画整理課>

・街灯については、前回1基との話だったが、10基あると判明した。

・商店再建と自治会組成について、誰に聞けばいい？

→商店については、かわまちテラス閣上についてホームページで紹介されている。飲食店9、販売店11、現在も追加募集中である。(市)

・スーパーについては？

→コンビニの進出意向が数店ある。しかし、ある程度人口がはりつかないと採算がとれない。他にも出したいとする業者はいる。(市)

・青果等のスーパーはあるか？アクションは？向こうから来る？

→どちらもあるが、人口の張りつきが問題。イオンモールがあることも影響している。(市)

・地元の向けの企業が進出できないなら、道の駅などの考えは？

→商業施設地について、今のところ、勉強会での出店希望はない。造成1年前ぐらいでないと判断が難しいらしい。医療福祉施設の設置予定があるので、調剤してくれるドラッグストアの立地も期待できる。道の駅も考えないといけないと思っている。(市)

・住民要望として、銀行、郵便局などの進出への期待も大きいので、市の動きが見えると情報が流しやすい。

→ATMも採算ベースで設置が可能となるらしい。(市)

・鶏と卵の関係だが、生活する側にとっては、我慢の気持ちより、何とかならないのかの気持ちが強い。

・医療福祉施設は？

→造成完了は32年1月、公募から認可・建設まで2年とすると34年1月が立地できる最短期間で、特別養護老人ホームとデイサービスを予定している。(市)

・森クリニックでやると聞いたが？

→県内での病床数の話があり、国と県と条件などを調整しつつ、検討していく必要がある。(市)

・かかりつけの個人クリニックなどは？

→声がけしているが、なかなかむずかしい。(市)

・この場で情報をもらってはいるが、どこまで伝えていいのか？

→広めてもらってかまわない。(市)

・住民に不安感があり、話を聞くと安心するので、できれば情報を広めていきたい。

→仮設住宅の相談会では伝えている。(市)

・施設の話について、方向性、開設予定時期などの整理を事務局でしてほしい。

→自治会組織については、生活再建支援課と復興区画整理課でやる。県道東側移転先団地と二期団地で一体となって、有力者に声をかけている状況。(市)

・強制的に呼んで構成したほうが良い。

→まち協にも流れ的に段階に応じて、入ってもらって進めることはあると思う。(市)

## 1. 情報受発信について

## <名簿登録等>

→総会開催案内の返送が155と会員の半分以下のため、事務局としては、いままで1回も反応のない方に、通知を行い、再度連絡がない場合、会員資格の喪失を打診したい。(事務局)

- ・まち協のパンフレットを作成し、意向確認が必要だろう。
- ・移転した人が増加するので、より多くなるかもしれない。
- ・事務局提案の方向で、意向確認をすすめるべきかなと思う。
- ・災害公営住宅の鍵引き渡し式において、まち協の案内もできればいい
- ・公民館には、まったく案内が何もない。起工式なども

→今後対応する。(市)

- ・新しい会員の集めるに、鍵引き渡しのときに、まち協は何をやる？
- ・5月29日に引き渡し式。1日高柳である。

## <パンフレット>

- ・案内のタイミングで配布することが必要ではないか？
- ・暫定パンフ、入会案内、スケジュールも入れたほうが良い。
- ・29日に配布。現時点でのニューズレターの最新版も入れたらよい。
- ・組み合わせで渡し、さらっと説明したい。
- ・町会長の挨拶が逆効果になってしまったこともある。
- ・口頭説明をするべきかどうか？
- ・仮設住宅のほうが市で説明する内容が早い。協議会の位置づけがあまい。
- ・しかし、仮設住宅から出て再建すると、情報が自分でとりにいくことになるはず。
- ・再建した場所では仮設住宅と同じように情報が受けられなくなる。
- ・閉上にもどってから情報を入手することはまち協が一番だということが重要。
- ・もどってから問題や課題を解決するには、一人ではむずかしく、集まって意見を行政に提示するには、認められている団体からの提案でないと反映しないということが重要。
- ・もどると予算措置も違う。
- ・違いを説明し、入っているほうがいいことだからという点を強調したい。
- ・資料を渡すという方向で、よしとする
- ・参加者は？

- ・世話役2名でいく。
- ・勧誘でなくても、資料説明でもよい。

→短ければよい。資料配布は事務局と市で調整させてほしい。(市)

## <ニューズレター>

→次回の世話役会で検討するが、内容は、総会内容と市長提案で構成する。(事務局)

## 2. 前回からの動きと今後の予定

### <総会>

- ・議事録案を確認した。

### <立正佼成会一食助成交付説明会>

- ・7地区の採択団体の人と、意見交換もしつつ、助成金の交付、奨励状を受け取ってきた。
- ・また、東松島市のあおい地区と今年度の視察の話をしてきた。

・あおい地区は防災集団移転先の団地なので、コミュニティの再生はスムーズにできたようで、閑上とは違うかもしれないが、いろいろ苦労した点をきいたほうが良いと思う。

### <市長提案>

・31日に参加できる人を確認した。

## 3. その他

### <仙台高専の相談>

→西松建設のまちづくり基金への助成について、まち協の名称と町会の名称をしようしていいか？(仙台高専)

・いいのではないかな？

・団体としての意味づけ、継続性など明確にできると良い。

・推薦状は問題ない。

・ポケットパークの使い勝手について検討することということなので、公園緑地部会との調整も必要だろう。

・予算書の会場費で、公民館は無料なので、予算を修正してよい。

・西松助成に絆の会も出す。6月27日がプレゼンだと聞いている。

・西団地のサポートを庄司氏が主幸している団体と連携をとるべき。

・県の助成も受けるべきでは？

・移動販売の可能性も探ることもありえる。集合住宅の外部空間などを活用する方向もある。お茶会などの機会にワークショップなどできればよい。

・高柳と大曲について、意向調査はするのか？やるなら手伝うが。

→どちらかという仮設住宅の長期化について気になるが。その意向調査をするとした場合はお願いする。(仙台高専)

### <まちなか再生協議会>

・代表と今野副代表が参加要請された。

→商業のにぎわいに関する再生計画案作りをしていくのが目的である。(市)

・参加者は事業者が主体であると聞いている。

### <西団地の集会所>

・来年春の学校の空き教室の開放、地域住民との交流で進めて活かしていきたい。学校長に話し、6月2日推進協議会で検討してもらう。

→災害復旧では余剰教室がないという話だと思うが。(市)

・地域住民が学校を作るということで進めていくべき。

→コミュニティスクールなどの話もあり、学校の地域開放を、放課後を活用などの話も、学校が身近になったほうが良い。発想をやわらかくするべき。(仙台高専)

### <総会に参加しての感想>

・仮設をまわってきた。知らない人が多い。PRが足りないと思う。参加者が少ないのも

・交通手段がないから。

・知名度がない。広がらないのはなぜかがわからない。

・PRの必要性はわかるが、個人情報保護の問題もあり、なかなか伝わらない。

- ・意思の確認ができない215世帯は無関心さからくるのだろう。
- ・PRに労力をかけるのはいかかかと思っている。それより良いまちを作ったほうが良い。
- ・閑上にもどると情報が手に入らない、それが重要な点となる。
- ・関心がないと意見も出ない。公営住宅の説明会などでまち協のパンフレット等を配布するという行動から興味をもってくれるかもしれない。
- ・住民にまち協の認識が低いという感じもする。
- ・住民総意とする役割がまち協にある。
- ・意見が反映されてきた経緯もある。
- ・意見だけ出すのではなく、冷静に検討していきながら提案しなければならない。
- ・意見は参考になるので、悪い話もどンドンみんなで議論したい。
- ・各団体の役割分担なども整理していく方がよりよいことになるはずだ。
- ・高齢化の進展について、危惧する部分もあり、運用やルール作りなども重要だと思う。
- ・地域の自治組成がままならないのが、現在であり、まち協を生かした地域自治にかかわることなども今後は整理できれば良い。

#### <第三期の災害公営住宅>

- ・従来は、戸建のところなのに、集合住宅になったらなぜ1階が非居住になっている理由が知りたい。
- 基本方針に基づき、集合住宅を建築している。
- ・経過を知っておくべき。もとは戸建住宅なのに、集合住宅で1階を非居住とする理由が明確でない。
- 緑道の整備という観点から、沿道の環境形成という点で、接点をどうするかを議論していくべきだろう。
- 復興部内で確認する。

#### <その他>

- ・まち協に対して、集会所の検討をどうするのか、市から話をききたい。
- ・復興マラソンのエイドステーション、まち協で何をするかも検討課題と思う。
- ・今後のまち協の運営方法も検討課題
- ・市長提案時の口述書を副代表に送付
- ・みちのくトレイルも紹介していいという話もある。環境省は何も理解していないようだ。交通手段も考えているようだ。
- タイミング的に会えば、参加を要請する。
- ・空港からの人の呼び込み、計画案が進んでいる。まち協の意見を言っていたほうがよいのでは？
- ・貞山彫りの舟運も事業者募集、情報共有すべきでは？
- ・みなし仮設の人は情報少ない。情報の平準化のためにもまち協が役割を果たすべき。

以上

#### <次回世話役会>

- ・次回世話役会は6月6日（火）とする。

次回予定:世話役会(115)6/6(火)18:30～ 名取市復興区画整理課会議室 以上